

第七十八回

千葉県小・中・高校

書き初め指導の手引き

○課題

小・中学校の課題は、春らしい言葉を選んだ。
高校は、漢字は唐の太宗皇帝・仮名は芭蕉の詠んだ句を選んだ。

○手本

本来手本とは難しい。特に子どもの手本は難しいもの。
教育的であり芸術的である二面性が常に要求される。
一、児童・生徒にわかりやすい。
二、癖がない。
三、強くのびのびとしている。
指導にあたっては、手本は参考であるので、指導者の工夫で児童生徒の個性を生かし、基本に忠実に、子どもらしくのびのびと力強く書かせてほしい。

○練習

児童生徒には練習の機会を逃さずに、大いに努力するよう指導してほしい。筆で字を書く楽しさを自分で工夫し体験させてほしい。

○字形＝用紙の中心と文字の中心を正確におさえ、字形を理解させる。偏と旁、冠と脚のある字は、その字の中心がどこにあるか、点画の位置・方向など特に留意して指導してほしい。

○概形＝字の形を大まかに縦長・横長・円形などに分けて書くとよい。線の長短・曲直に注意してほしい。

○特殊な字形の場合は特別に指導するとい。）

○筆使い＝筆の毛質（柔・剛）に合った運筆法を丁寧に指導し、特に線の太細に留意し、基本的な用筆を理解させてほしい。

○氏名

小学生は、一年生から必ず作品に氏名を丁寧に書くこと。
中学生は、氏名を本文の漢字と同じ書体で書くこと。
高校生は、体裁よく書くこと。
仮名作品は、印だけでなく、本文に合った名を書くこと。
（姓は書かない）
各学年とも、本文と氏名がつり合うよう、特に氏名の指導は念入りにしてもらいたい。

各学年課題一覧

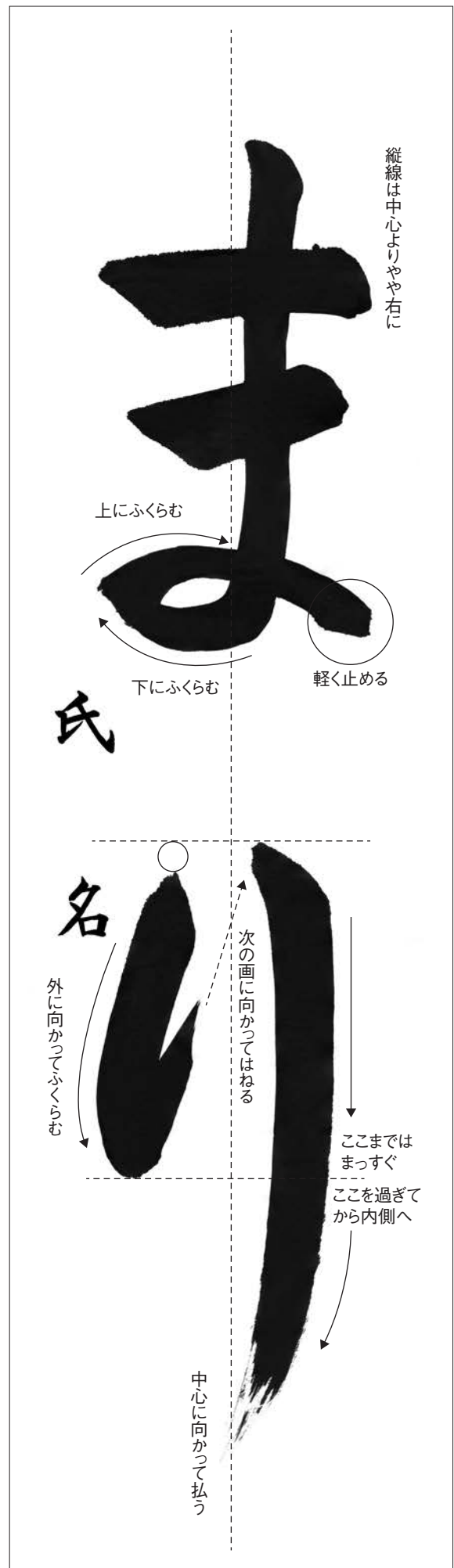
小一	まり
小二	きぼう
小三	ゆき山
小四	初もうで
小五	美しい空
小六	新春の朝
中一	輝く大地
中二	初春の喜び
中三	富士の白雪
高校	「漢字」 鶴舞千年樹 「仮名」 人も見ぬ 春や鏡の うらの梅

（芭蕉）

審査長 宮負丁香

令和七年十二月

小学一年
まり



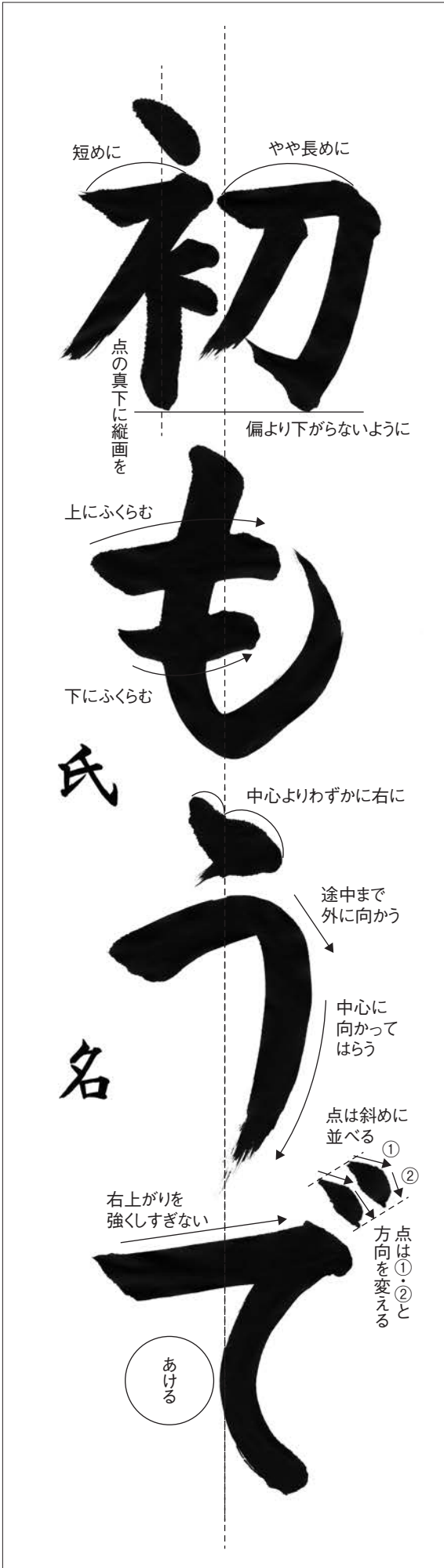
小学二年 きぼう



小学三年 ゆき山



小学四年 初もうで



小学五年 美しい空

美

短めにそろえる
長く

し

縦長に

中心で方向を変える

頭をそろえる

い

つながり

名

空

縦長の字形

ふせる

小学六年 新春の朝

新

あける

出す

左を長く右を短く

春

反る

まっすぐ

ふせる

氏

「旦」は縦長に

の

中心から始まり
中心で終わる

朝

縦長の字形

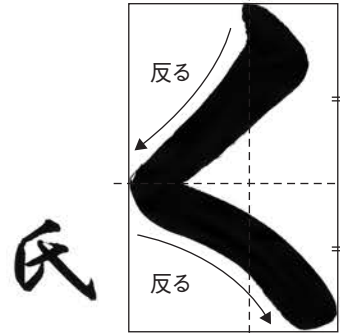
反る

反る

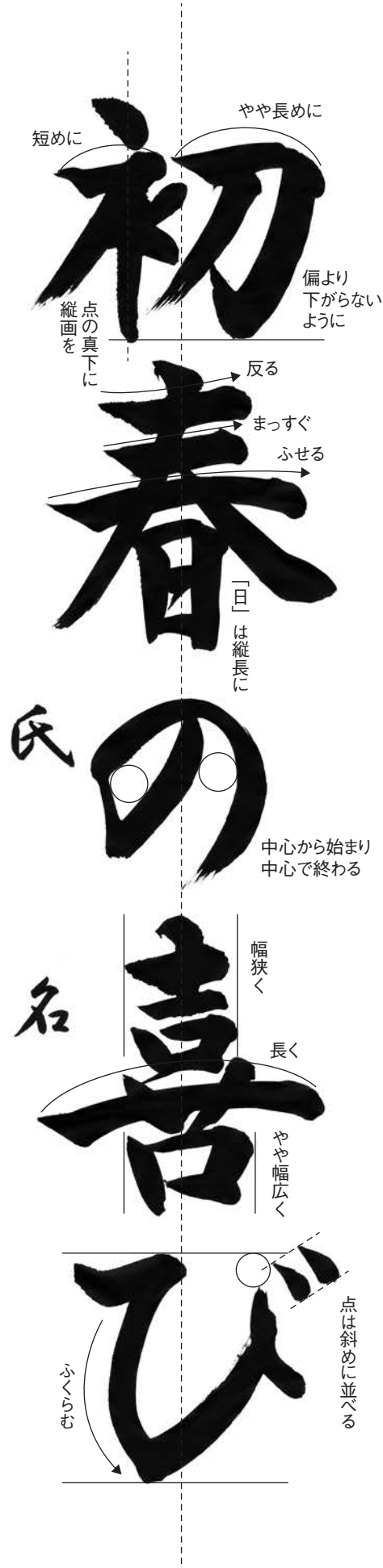
あける

あける

中学一年 輝く大地



中学二年 初春の喜び



中学三年 富士の白雪



高校 (漢字)



高校 (仮名)

